

吉林省檔案館
廣西師範大學出版社
編

日本關東憲兵隊報告集(第四輯) 19

廣西師範大學出版社

· 桂林 ·

目 录

1	新京宪兵队通信检阅月报(昭和十八年五月八日)	〇〇一
2	新京宪兵队通信检阅月报(昭和十八年六月七日)	〇一七
3	新京宪兵队通信检阅月报(昭和十八年十月八日)	〇三二
4	新京宪兵队通信检阅月报(无年代三月)	〇五八
5	新京宪兵队通信检阅月报(无年代)	〇七五
6	新京宪兵队通信检阅月报(无年代)	〇八三
7	新京宪兵队对驻满部队士兵通信检阅月报(无年代)	〇八七
	附：残页	一〇二
8	满洲里地方检阅部对驻赤塔中国领事馆通信检阅报告(昭和十二年十月十五日)	一〇四
9	满洲里地方检阅部关于可疑苏联犹太文信件翻译报告(昭和十二年十月十五日)	一一〇
10	满洲里地方检阅部通信检阅月报(昭和十三年七月四日)	一一一
11	满洲里地方检阅部通信检阅实施状况报告(昭和十三年十月八日)	一一九
12	满洲里地方检阅部通信检阅月报(昭和十四年十一月五日)	一二二

13	满洲里地方检阅部通信检阅月报(昭和十四年十二月一日)	一二八
14	满洲里地方检阅部通信检阅月报(昭和十五年四月三日)	一三五
15	满洲里地方检阅部通信检阅月报(昭和十五年八月一日)	一四三
16	满洲里地方检阅部通信检阅月报(昭和十五年十二月五日)	一五〇
17	满洲里地方检阅部通信检阅月报(昭和十六年十月四日)	一七四
	附：残页	一九一
18	满洲里地方检阅部通信检阅月报(昭和十六年十一月五日)	一九六
19	满洲里地方检阅部通信检阅月报(昭和十六年十二月五日)	二一二
20	满洲里地方检阅部通信检阅月报(昭和十七年四月)	二二八
21	满洲里地方检阅部通信检阅月报(昭和十七年七月三日)	二六五
22	满洲里地方检阅部通信检阅月报(昭和十七年八月四日)	二七八
23	满洲里地方检阅部通信检阅月报(无年代十月)	二九二
24	满洲里地方检阅部通信检阅月报(无年代)	三〇〇
	附：残件 1	三一七
	残件 2	三二三

	残件 3	三三七
25	鸡宁地方检阅部通信检阅月报(昭和十八年二月一日)	三四二
26	鸡宁地方检阅部通信检阅月报(昭和十八年三月一日)	三六八
27	鸡宁地方检阅部通信检阅月报(昭和十八年五月三日)	三九三
28	鸡宁地方检阅部通信检阅月报(昭和十八年七月一日)	四一一
29	鸡宁地方检阅部通信检阅月报(昭和十八年九月二日)	四三三
附:	残页	四六四

新檢...

通告檢閱月報圖元件報告

昭和十八年五月八日

新市地方檢閱部
東京憲兵隊

大檢閱部
東京憲兵隊

關於憲兵隊高等警察事務規程第一九條二基
題月報(四月分)別冊通報告又

發還先

中檢 為四年 吉林



一 敵派文

其内中

軍統上要注意通信ハ一六五件ニシテ前期(三八一件)

ニ比シ減少シヤリ

又防諜上要注意通信ハ四件(前期三件)ナリ

又中國下ニ在リ抗日通信一件、刊行物ハ三件ニシテ著

シテ激増セリ(前期ナシ)

又統制經濟ニ對スル不滿乃至生計困難ヲ報告通信

甚多流言蜚語ノ慮レアルモノ一〇件ニシテ前期(八件)

二取扱郵便及電報

二取扱郵便及電報取扱表

電報	郵便物		取扱件数	指置件数
	前月	本月		
本月	四一九〇三八	四二六八〇八	九三四六	三〇六
前月	四一九〇三八	四二六八〇八	七一六七	二六九
本月	四一九〇三八	四二六八〇八	九三四六	三〇六
前月	四一九〇三八	四二六八〇八	七一六七	二六九

郵便検閲

郵便検閲実施成果表

野矢... 概要

九、如クニテ主ナル内容別紙ノ如シ

計	其地	国有地像名ニ記載スルモノ	軍、艦隊ノ報スルモノ	計	抗日通信	抗日通信文	抗日通信	計	軍人等属	前期	本期
										数	数
4	7	1	1	4	1	1	1	1	3	4	1

軍人等属 軍地風土地像ヲ記載スルモノ

詳上受注

意通信

區

分

本報後附音自地或果表

其 他	無許可	送金要求ノモ	二	
	地方郵政局	陸軍野戦使用ノモ	一六	一四
信	利用ノモ	其他(内書要座免事項ノモ)	二五八	一四八
	其他(重入軍属以外ノモ)		一	
其 他	計		二八一	一六五
	物資不足生計困難ヲ報スルモ		四	五
其 他	流言蜚語ノ度レアルモ		六	一
	統制經濟ニ對テ不滿意ヲ報スルモ		八	四
其 他	經濟情報			
	計		一八	一四
合計			三六	二六三

別表第一

檢閱音視成果概要

区

分

船舶行動二箇无之ノ削除

氣象二箇无之ノ削除至停止

軍財詳二箇无之ノ削除

經濟關係削除至改書

新聞電報氣象三箇无之ノ削除

漢文電報内容不明之ノ停止

國際新聞長報經濟三箇无之ノ削除

其他

合計

九	三	一	一	三	二	四	五	前
二							口	計
五				八	二	二	一	本
七							六	期

防諜上有宮通信

<p>送付者</p>	<p>新京市 台林六路 二〇八</p> <p>樋口義人</p>
<p>受信者</p>	<p>錦州中 錦州第八軍 事郵便所 付滿洲第 八六九部隊</p> <p>眞部隊 山本班 西村敏夫</p>
<p>内容</p>	<p>今度のおはがきには暗号を御願しま す本年の六七月頃迄或はそれ以上 に錦州におられる様を知らせたいの の行に〇一ツ 五月中にはおるがうう位でしなう 口を一つ いつかおきてゆくかもしらばり分 うお探してしなう△を一つ 實は叔 も母上あう 御預りの品もあ御 入用なりともしもとにかく御願 して置度次に御用にてあるは やはり純然たる病院とか或は 療養所のやうな処でせうかえう</p>
<p>処置</p>	<p>没収</p>

新京市羽
衣町二二三
白坂町

有岸

愛知縣一
富市榮町
二ノ四
浅野あまき

おしれた入ハガキの終り行は○を
のりすまふな多々普通運隊
おしたう口一つ運隊の中であふ
療養所はつてあるといふ標
したう△をなみまき 取かう
徒歩三千分以内リなうレレ
！三十分以内レレレレと二
つ行方上方面たかき

私達の運隊の第三班には(軍曹)
二人兵長一人上等兵八人下級四十九名
は星一つ可愛二等兵許リわ然
一案外あはれ上等兵りし
余り氣合を掛しられまは事有
りちかへりな

在り上靴心レレ一回平手ピンタ一回

没収

	四一七	
偽名 平安町三二	新東京中 島所四丁目 東軍酒 保 金松邦芳	
大連市 陸軍運輸部	静岡縣志 太郡徳山村 地名 宮下愛子	
傳令使三人を指揮して去來の下 うも現張子居りしを陸軍運輸 受付此所共済組合の救済あり	酒保の異動は五月十日發令され ず相當に大なる異動ありしを 實は現在在る倉庫は新東京地区 東軍の倉庫名を宮所を補つた 周係者達も非常なる努力に依り 孟家此の部隊倉庫中にて液 細成多野 明十五日かゝり移転倉庫 小芝周始致し	本西門を閉じ上りしを 中は押ゆること一回やうなれ し
	没収	

軍隊生活日記

山本秋子
本名
二 園東軍司令部
いん

佐藤正

六連出張所

久米川都子

健康簿の整理規約預金の差別
此給品の分配酒保品の配給日報
提出命令令合報の受領高田入事班
の庶務事項等全部小生入にて
了了す。當班は参謀部入
事班で書記室です。かくは皆んな
ウツク上手な人々ばかりです。

没収

新京市興
安朝同二三

西一曰 人の忠

東京市深

川区新大橋
三ノ一

三宅美代子

前各男の情熱を著した医学研究
シ如何に國策の爲とほ言ひ下り権
に第一医者としては役に立つか。然
無関係に興味のない漢習等を強
かうれける現存何歳敵があらうか
激しい漢習を毎日繰返して居るの現
在なのだ。軍隊に來て色々得難い
経験を得る取つた曉にはやつくり話
しをしらう。

没収



02103664

軍隊婦心通信

本隊より定数部隊で選抜サレテ兵一
 人ハルビン三四五部隊に露語通訳
 要員の教育品百位分遣せらるる
 事と本日命令が云々本月九日新
 京ヲ出發する予定で此の旨紙が着
 く頃にはハルビンに居る事ハせう
 ハルビンは毎月外其も來るるし露
 語ノ辞書等書籍類ヲ購入するもの
 金五十円ヲ送金仰願します。為替を
 レターペーパーの間にはさんで普通
 郵便で送るは呉れ。後見

前見：兵隊さんが彼つて來て居り
 ます。その方々色々と聞かました。け
 満洲より來ると新兵さんは本當

新原特別

高知縣吾

三平衛
三〇、一

川部伸野
野五二九四

島本澄憲

森木豊實

一六

可愛想ですわ今更澄江の胸は痛
 みます 今下何十度と云ふ所毎日
 何十里を行軍して少し遅れれば打
 ち火冬傷にはなれず戦地に行かぬ
 中小う手を切ると足を切ると隊
 には居る人なつてあるやうに又漢習
 山中の中を行く才力もに力か殺され
 たりす方とか随分心でござうにや、
 ましたそれかうすと軍隊生活
 をたぐるさあうやうに來まされよ
 六年もせねば青長にたれたいと
 か又准尉かう上になれたいと
 了ぬ物質的に細く今あり
 心野しておきす

後思

汲文